

【栄区】令和3年第3回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和3年9月7日（火） 11時00分～12時00分
場 所	栄区役所新館4階8・9号会議室
出席者	<p>【座長】長谷川えつこ議員</p> <p>【議員：2名】大桑正貴議員、輿石且子議員</p> <p>【栄区：30名】富士田学区長、藤澤智明副区長、 西野均福祉保健センター長、 井上弘毅福祉保健センター担当部長、 櫻井暁人土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和2年度個性ある区づくり推進費決算について 2 令和3年度個性ある区づくり推進費執行状況について 3 栄区の事務事業の執行にあたって 4 会議報告書の作成について
発言の 要 旨	<p style="text-align: center;">（説明省略）</p> <p>大桑議員：まず、令和2年度決算について区長の所感を一言お願いしたい。</p> <p>富士田区長：93事業全てを実施したかったが、2,800万円余りの現年度見直しをしなければいけないような状況の中で代替事業等も実施できたことは、本当に苦肉の策ではあったが、しっかりとできたと思う。</p> <p>大桑議員：予算と決算の差引額1,200万円は市に戻すのか。</p> <p>伏見総務課長：市に戻すこととなる。</p> <p>大桑議員：全体的に中止のイベントや事業があったと思うが、両親教室や母子相談など、特に子どもに関わる事業が中止により減額になっている。何かフォローをしているのか。</p> <p>和田こども家庭支援課長：乳幼児健診等について、通常、区役所で実施するが、感染症等がご心配な方へは一般医療機関等での受診を選択できるように、フォローしている。</p> <p>両親教室は、通常定員40組のところを20組に絞って実施せざるを得なかったが、地域子育て支援拠点「にこりんく」でも実施しており、できる範囲で対応している。</p>

乳幼児健診と両親教室を終了された方については、「にこりんく」の活動や、区の保健師等による個別のフォローで対応している。

大桑議員：乳幼児だけでなく、小学校・中学校もそうだが、学校が臨時休校で、家庭で過ご時間が長くなることで虐待などにもつながりかねないので、そこはぜひアンテナを高くしていただきたい。

興石議員：令和3年度は令和2年度の決算を踏まえたうえでスタートしているという認識でよいか。

富士田区長：令和2年度にできなかったこと、現年度事業見直しにより前倒しで実施したことを踏まえたうえで、感染症対策等で習得した知見や手法をもとに令和3年度の事業を進めている。

興石議員：市内で最も高齢化が進んでいることや、ほぼ住宅地で構成されているという栄区の特徴を踏まえて、他区との比較で区長が感じていることはあるか。

富士田区長：区内の各地区にはそれぞれ特徴があり、高齢化率も異なるので、各地区の状況に見合った施策を打っていくべきだなと感じている。保育園等についても、駅周辺とそれ以外の地域で異なる特徴が見受けられることを踏まえて、こども青少年局と連携しながらしっかりと取り組んでいきたい。

興石議員：コロナ禍での生活はマイナスな面ばかりではなく、ライフスタイルの変化自体が栄区の特徴を生かすチャンスでもあると思っている。郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進については、予定どおり改修工事等の検討が進んだということによろしいか。

永松区政推進課長：旧庄戸中を解体したときの費用等の試算を計画通り執行した。

興石議員：コロナの影響もあると思うが大きな事業に結びつけられるものだと思うので、ぜひよろしくお願ひしたい。

地域防災拠点支援事業で3月に広域避難場所表示等看板のメンテナンス実施予定とのことだが、これは金井町のものか。

伏見総務課長：金井町ではない。局で設置した看板等のメンテナンスを区で対応したもの。区では例えば防災マップのように、全戸配布による情報提供というようなソフト面でのフォローをしていきたいと考えている。

興石議員：広域避難場所の看板は局の予算や決定でなされていると思って

いたが、区予算を使って新規でやるのが可能なら区でやるべきことなのか、事業のすみ分けについて疑問に感じたのでお聞きした。

伏見総務課長：あくまでこの予算はメンテナンスに対する費用だ。設置については公園の許可や管理業務が発生するため、基本的には局所管となる。メンテナンスなどは、局との協議の中で必要性や緊急性を勘案して、区の判断で実施することもある。

興石議員：避難所に関する看板は、その現場に設置されているので、意識向上とか安心感の醸成等、看板自体の効果が高いと考えている。栄区に居住して区内で1日を過ごすという生活スタイルの方が今後ますます増えてくるので、看板の設置についてはぜひ局に要請して、設置していただくべきと思いついた。

また、日本語理解が不十分な外国人の生活保護受給者を対象とした相談業務向上事業について、このハンドブックを必要とされている栄区に居住の方は何人ぐらいか。

村山生活支援課長：外国人の生活保護受給者は、令和2年6月末時点で28世帯38名だった。外国人世帯への外国人転入や外国人世帯での世帯主変更など、生活状況が変化した際にこのパンフレットを配付して、不正受給にならないようにということを周知している。

興石議員：引き続き状況を把握して、適切な時期に情報共有をしていただきたい。

長谷川座長：令和2年度全体を通して、やはりコロナ禍において集まるのが難しくなってきた中で、ウェブ等を活用したセミナーや広報等が行われたと考えている。この状況がいつまで続くかは全く不透明だが、今後も事業を開催していただきたい。また、Zoomでの会議等を希望される事業者も増えている。ウェブを活用した事業実施やZoomを活用した会議開催など、今後の方向性についてお聞かせいただきたい。

富士田区長：今年度以降の取組として、Wi-Fi整備等、必要なときに機能するような環境整備を確実に進めていきたいと考えている。事業についてはできる限り実施したいと考えているが、無理のない程度にしたい。また、物理的な理由により実施できないということがないように、必要なことに予算を執行して対応していきたいと考えている。

長谷川座長：高齢化が最も進んでいる区ということで、ICT への対応が難しい方もいらっしゃると思うが、円滑に事業を進めていただきたい。

ほかにご発言がないようであれば、令和3年度の執行状況についての質疑をお願いしたい。

大桑議員：先ほど区長から話があったので、計画している事業は執行するという前提だとは思いますが、区民まつりは中止の方向とのことで確認したい。1月の栄区民ロードレース大会や3月のSAKAE ヤングフェスティバル、栄区中学校対校駅伝大会は、コロナの状況がどうなっているか分からないが、基本的には実施する方向で進めているという理解でよろしいか。

近堂地域振興課長：SAKAE ヤングフェスティバルと栄区中学校対校駅伝大会は特に中学校のご協力が非常に重要な事業である。緊急事態宣言下の対応で学校も非常に混乱している状況ではあるが、少し先を見て意見交換を始めている。おっしゃるとおり先が見通せないところではあるものの、現時点では3月の開催を前提に話をしている。

大桑議員：先のことなのではっきりと言えないとは思いますが、子どもたちは修学旅行や体験学習に行けない、運動会は午前中のみ短縮開催でお弁当なしというような状況になっているので、できる準備だけは今のようしっかりと現場とも中学校とも話をさせていただきたい。もちろん健康第一で感染予防に気をつけなければいけないし、無理をする必要はないが、ぎりぎりまで判断を粘っていただきたい。大変だと思うが、よろしくをお願いしたい

バス停の上屋設置補助事業について、3月に1か所ということだが、仕組みや場所は決まっているのか。

永松区政推進課長：7月の区連会で地域の皆様に補助は1か所で8月末締切りという形で周知させていただいている。今後、上屋の設置場所を確定し、地域の皆様に9月の半ばにはお知らせしていくということで準備を進めている。

大桑議員：決まったらまた教えていただきたい。

前回確認したかもしれないが庁舎改善事業の「Wi-Fi の整備」は職員向けか、市民向けも含めてか。

伏見総務課長：職員だけでなく、区民の方も使えるような仕組みを考えて

いる。

大桑議員：区民の方が利用できる範囲は。

伏見総務課長：庁舎改善事業は区民の方が来庁した際に安全で気持ちよく過ごしていただくための事業であり、Wi-Fiを整備すれば利便性が高まるということで本館1階のロビー、新館4階と会議室があるエリア等を予定している。庁内の協議・調整は済んでいて、今年度内の整備に向けて手続きを進めていきたい。

大桑議員：私も何回か話をさせていただいていたと思うので楽しみにしている。整備後の評判もお聞かせいただきたい。

租税教育の充実事業についてコロナ禍で小学校等に出向いて行けたのか、また実施内容について教えていただきたい。

鳥海税務課長：今年度は小山台小学校、桜井小学校、上郷小学校で既に実施している。これは神奈川県租税教育推進協議会という、租税教育のための審議会で募集し、基本的には税務署が取りまとめて実施しており、我々区役所としては小学校を担当させていただいている。税金がどのように使われるのか、消費税とは何かということ、クイズ形式を交えて授業しており、小学生の皆さんにも積極的に参加していただいて、非常に盛り上がって喜んでいただいている。授業のほか、クリアファイルを作成して区内全ての小学6年生に配布し、税に対する理解を深めてもらう事業である。

大桑議員：子どもたちが楽しむ機会がなかなかないので、引き続きやっていくような事業であれば実施をお願いしたい。

興石議員：水害対策事業の水害対策広報スピーカーの出力アップ及び河川水位警告灯設置について、令和2年度においては当初予定から2か所追加したことによる決算額の増というご説明があった。令和3年度においても9月設置が計上されている。これは決まった数全てについて順番に実施していくという考え方でよろしいか。

伏見総務課長：順番に設置していくという考え方ではない。令和2年度は田谷と長尾台、今年度は飯島跨線橋を計画している。基本的に区としては啓発を主として考えているが、河川氾濫については命に関わる問題なので局と協議・調整しながら区で実施した。

興石議員：バス停留所上屋設置補助事業について、今回は1か所ということだが、この先も申請を募って増やしていくと思ってよろしいか。

永松区政推進課長：今回の募集状況や相談状況を踏まえて、令和4年度の編成に向けて検討していきたいと考えている。

興石議員：区民まつりの中止について、今回多数の団体が出店を検討していたと聞いている。そういう方々に、何かできることはないか。区民まつりではない違う形で活動を継続するためのアイデアをお持ちのところには、例えば少ない額でも補助金を出すと何かそういう考え方はあるか。

近堂地域振興課長：令和2年度は実施の可否の検討の前に中止となった。今年度については感染症対策を徹底して開催をするという強い気持ちで準備を進めてきたが、開催まで2か月というぎりぎりのところで中止とさせていただいた。出店など申込みもかなりいただく中で本当に苦渋の決断となった。今後、申込みされた方々に何かインセンティブを与えられるかどうかなどを、区内で少し議論していかなければと考えている。

出店に向けて準備を進めてこられた方に対して補助金を交付するというのは難しいが、来年度に向けてご意見などを伺うような機会を設けながら、また同じような状況になったときにどう対応していけばいいのかということも考えていきたい。

興石議員：オンラインを活用した取組など、皆さんが参画できるような企画の検討をお願いしたい。

長谷川座長：時間が限られているため、ほかに質問等なければ、次の議題の栄区の事務事業の執行にあたってについて、区長よりご説明をお願いしたい。

会議報告書の作成については座長一任。了承

備 考